

台風18号の降雨における

阿木川ダムの防災操作について(速報)

独立行政法人水資源機構の管理する阿木川ダムでは、平成 25 年9月16 日の台風18号の影響により、阿木川ダム流域で**時間最大雨量42mm**(16 日 9 時から 10 時まで)、降り始め(16 日 0 時)から 16 日 12 時までの**累加雨量は138mm**を記録しました。

この降雨により阿木川ダムの**流入量は最大で毎秒377立方メートル(管理開始以降 2 番目に大きい流入量)**(16 日 10 時 20 分)に達しました。この流入量に対し**毎秒261立方メートルをダムに貯めて**、下流河川の水位低減をはかりました。

この結果、ダム下流の恵那市街にある大門地点(だいもん)(下流基準地点)において、ダムがない場合に推定される河川水位3.39メートルを、**避難勧告が発せられる水位(避難判断水位3.10メートル)より低い2.54メートルまで低下(0.85m 低下)**させたと推測されます。

※ 防災操作とは、大雨などの際、流れ込む水の一部をダムに一時的に溜め込むことでダムから下流へ流す量を減らし、下流の川の水位を低減させることです。

平成25年9月17日



独立行政法人水資源機構阿木川ダム管理所

発表記者クラブ

恵那記者会、中津川記者会

【問合せ先】

独立行政法人水資源機構 阿木川ダム管理所

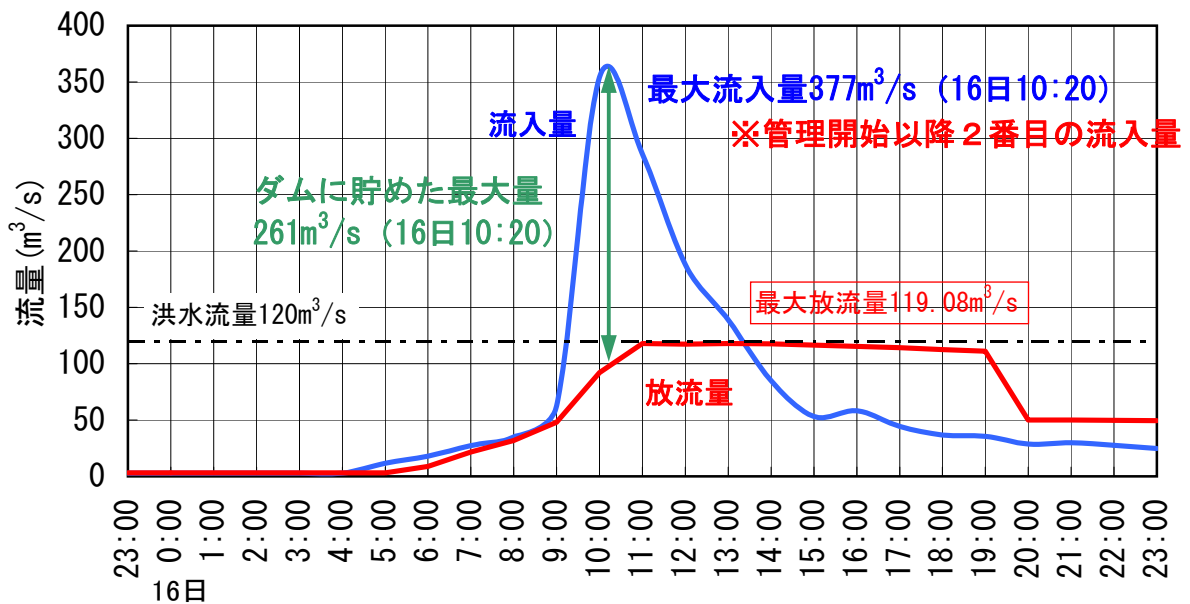
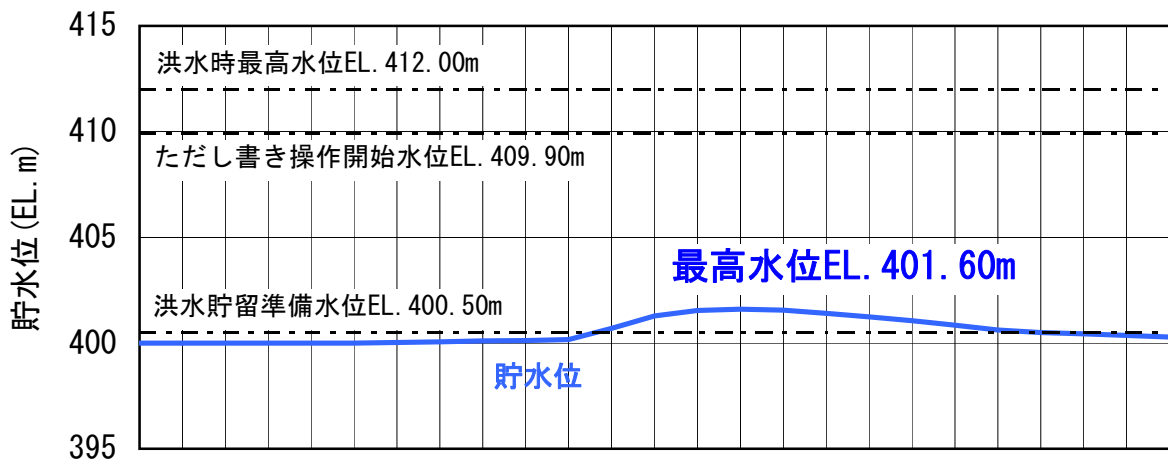
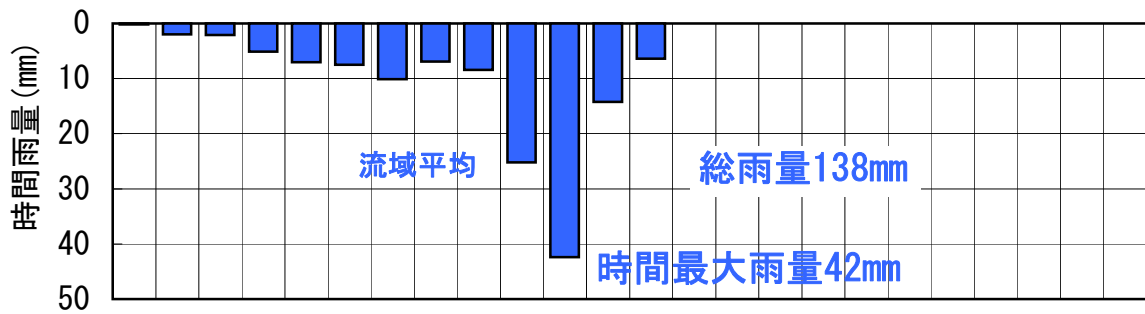
所長代理(技術) すぎた 杉田

住所 岐阜県恵那市東野字花無山2201-79

電話 0573-25-5295

●台風18号における阿木川ダムの防災操作

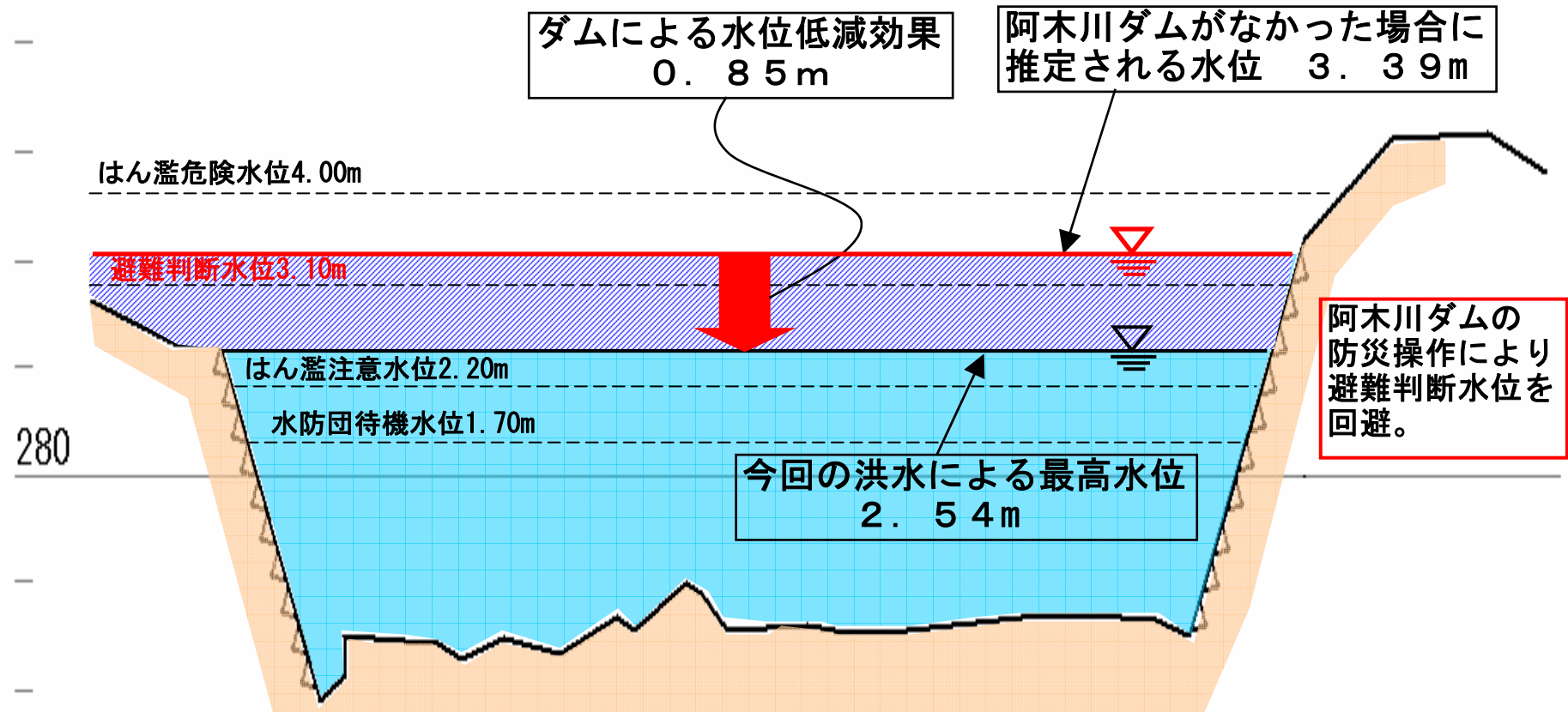
速報



● ダム下流大門地点の洪水調節効果

速報

285



280

※ ダム無し時水位は、ダムに貯めた最大量から推定したものです。

ダム下流 大門地点 位置図

